

### バス研修会報告 再生可能な未来のエネルギーと科学技術

緑町三丁目町会 和田善一郎

10月26日(土)、クリーンセンター運営委員会恒例のバス研修会に約60人が参加し、水素情報館「東京スイソミル」と「日本科学未来館」を訪ねました。

#### 未来の暮らしを変える水素の力

東京スイソミルは、水素を利用した未来の暮らしを体験しながら学べる施設です。自転車をこいで電気をつくり、水を電気分解して生じる水素を使って、燃料電気ミニカーを動かしたり、実物の電気自動車と水素ステーションを見学しました。地球上に無限に存在する資源からクリーンな、しかも貯蔵できる燃料「水素」について学びました。

#### 最先端の科学を知る日本科学未来館

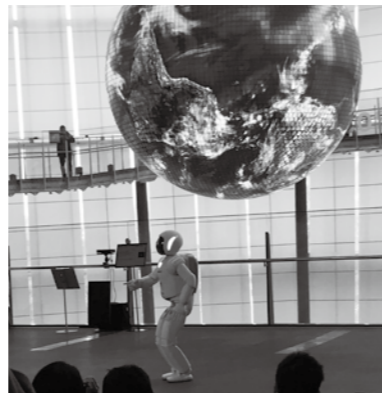
日本科学未来館は、「世界を探る」「未来をつくる」などをテーマにした参加体験型のサイエンスミュージアムです。入ってすぐの巨大な地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」に映し出された時々刻々と変わる世界の気象に目を奪われました。

実物大の通信衛星の展示では、エンジンや燃料の改良により小型化され、今年打ち上げられた通信衛星はよりシビアな情報が得られるようになったことなど、



▲自転車をこいでつくった電気で水を分解して、水素を取り出す実験コーナー。つくった水素で燃料電池ミニカーを動かします。

▶シンボルゾーンでは、ジオ・コスモスの下で、定期的にロボットのアシモの実演があり、人気を集めていました。



最新の取り組みが紹介されていました。

また、ロボットコーナーでは、アシモなどヒューマノイドロボットに人工知能を植え付けた生活環境の改善への取り組みなどがすばらしく、日本のものづくりの再生を図っているように感じられました。

今回の研修は、将来の暮らし向きを考える機会になりましたが、参加体験型の施設だったこともあり、和気あいあいと楽しい一日を過ごすことができました。

### クリーンセンターがグッドデザイン賞を受賞 受賞記念講演会を開催

新しいクリーンセンター工場棟が、2017年度のグッドデザイン賞の公共用の建築・施設部門で受賞し、記念講演会が開催されます。

- ▶日時：2月25日(日) 午後2時～4時
- ▶会場：クリーンセンター2階 ホール3
- ▶講師：小澤紀美子氏(施設・周辺整備協議会会長/東京学芸大学名誉教授)  
水谷俊博氏(同協議会副会長/建築デザイン監修/武蔵野大学教授)  
塚本輝彰氏(在原環境プラント)
- ▶内容：クリーンセンターのデザイン、市民参加、建築、プラントの視点から

★詳しくは、市報2月15日号をご覧ください。

編集・発行/武蔵野クリーンセンター運営協議会  
〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5  
武蔵野クリーンセンター内  
電話：0422-54-1221  
●武蔵野市ホームページ  
<http://www.city.musashino.lg.jp/>

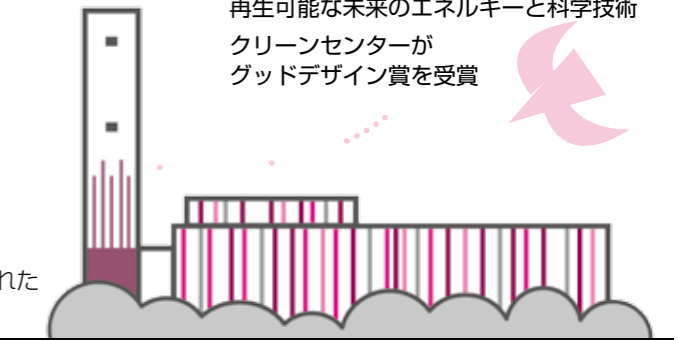
\*この広報は、再生紙を使用しています。

# 武蔵野クリーンセンター 運営協議会 だより 68

武蔵野クリーンセンター運営協議会とは  
1984年施設建設時に地域住民の安全と権利を守るために設置された  
周辺3地域4団体が参加するクリーンセンター運営の監視役。

## CONTENTS

- P1…旧工場棟の解体工事
- P2…武蔵野クリーンセンター運営協議会  
エコ広場
- P4…(バス研修会報告)  
再生可能な未来のエネルギーと科学技術  
クリーンセンターが  
グッドデザイン賞を受賞



## 工事中 NOW 旧工場棟の解体工事

昨年4月から新しいクリーンセンターが本格稼働を始め、役目を終えた旧工場棟の解体工事が現在行われています。工事については工事協定書を結び、安心・安全に配慮して進められています。

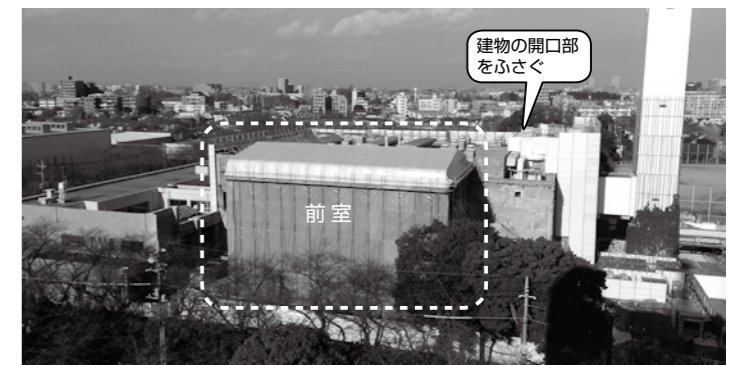
### 有害物質は外に出さない

ごみ焼却施設の解体工事ではダイオキシン類やアスベストなどが外部に飛散しないための対策が必要です。そのためダイオキシン類や粉じんが外部に出ない対策として、建物の開口部を塞ぎ、搬出口に二重ゲート構造(1つのゲートが閉まった状態でもう一方のゲートが開く構造)の前室を設け、集塵機により建物内部を負圧にし、焼却設備の解体作業で発生する粉じんを捕集しています。

夏には焼却炉やボイラなどの設備機器内外を高圧洗浄機により、灰や粉じん(ダイオキシン類含有)の洗浄除去を行いました。その後、設備機器の解体を12月までに終わりました。なお、洗浄除去した灰や粉じん、洗浄に使用した水も適正処理されています。



アスベスト含有材は、二重の袋に詰め、岡山県の管理型処分場に埋め立てます。



▲工事中に有害物質が出ないように、搬出車両の出入口用の前室を設置。開口部をふさぎ、集じん機で外に粉じんを出さないしくみです。  
◀前室は、2重ゲートにより厳重に密閉しています。

### アスベストの処理

内外装の塗装材にはアスベストが含有しているため、剥離工法(塗装に剥離剤を浸透させ剥がす工法)により塗装材を除去し二重の袋に詰め、岡山県の管理型処分場に埋め立てます。また、設備配管のコーナー部の保温材やパッキンにもアスベストが含有しているため、その部分は分解せず、配管の上下を切断し塗装材と同様に二重の袋に詰め、これらも岡山県の管理型処分場に埋め立てます。

今後の解体工事は前室を撤去し、焼却設備のあった建物の解体を3月まで行います。さらに、地下部分、杭の解体、整地を9月末まで行います。その後、解体跡地に新管理棟や連絡通路などの建設工事を進め、平成31年6月に完成する予定です。



※グッドデザイン賞は、さまざまな事象の中から「よいデザイン」を選び、顕彰することを通じ、暮らし、産業、社会全体を、より豊かなものへと導くことを目的とした公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「総合的なデザインの推奨制度」です。(ホームページより)

### \*編集後記\*

新クリーンセンターが、清掃工場内をいつでも見学できるようになり、市民とのふれ合いの場にするとともに、環境・ごみ問題の啓発の場として、イベントを開催し積極的に市民に働きかけを行っています。私たち運営協議会委員は、市民のみなさんに一度は足を運んでいただき、環境やごみ問題に対する認識を見つめ直す機会にさせていただければ幸いです。(和田 善一郎)



**コンサート**

お揃いのTシャツで演奏する四中吹奏楽部のメンバー。楽器の説明を交えた楽しいトークと演奏で会場は盛り上がりました。

**地域ならではのイベントを**

平成28年9月30日、新しいクリーンセンター工場棟2階ホールで、運営協議会のイベント「エコ広場」を開催し、約100名の来場がありました。開かれた施設としてイベントやワークショップなどが増える中、運営協議会はどのような催しにするか話し合い、「地域ならではの手作りの参加型イベントにしよう」と、地元の武蔵野第四中学校吹奏楽部のコンサート・工場見学・環境についての講演会を行いました。



●イベントに参加して●  
**繋がれ！ 地域の輪**

武蔵野市立第四中学校 吹奏楽部有志

先日は、私たち四中吹奏楽部に演奏の機会を与えてくださりありがとうございました。クリーンセンターのリニューアルという記念すべきイベントに参加することができて光栄です。

今回参加させていただいた12名は、ふだんの部活動に加え、朝練習も行っています。アンコールを含めた5曲と楽器紹介で演奏した曲は、より多くの方々に楽しんでいただけるように有名な曲を集めました。少人数編成で指揮者もいないため、いつもとは違う雰囲気での演奏となりました。

当日、だんだんと埋まっていく客席を見て、私たちの気持ちも徐々に高まりました。四中吹奏楽部の紹介アナウンスの後、トランペット、トロンボーン、サクソでジャズの名曲「A列車で行こう」を演奏しました。2曲目はフルートとクラリネットの「メリーウィドーセレクション」、3曲目はパーカッションで

「アンダー・ザ・シー」。これらの六つのパート全体で「くるみ割り人形」とアンコールで「宝島」をお届けしました。

たくさんの拍手と手拍子などで会場を盛り上げていただき、ありがとうございました。あたたかい雰囲気の中で楽しく演奏することができました。

今後もこのような地域の方々との交流イベントを積極的に行っていくことで、私たちの住むこの地域をより活性化させていきたいです。さらに参加者である私たちが、武蔵野市や四中の良さをもっと発信していけるようがんばります。

今年度3月には、第四中学校体育館で毎年恒例の定期演奏会を行います。みなさんも知っている有名な曲や、今年流行った曲など、さまざまなジャンルで楽しめる曲を演奏する予定です。ぜひ、お越しください!!

**工場見学**

会場になったホールは見学通路にあるので、コンサート終了後、すぐ工場見学ができます。参加者はクリーンセンター職員の説明に聞き入り、ごみを貯めるごみピットをガラス越しにのぞき込んでいました。



うちのお風呂って、どのくらい水やガスや電気を使うのかな？



**環境に関する講演会**

身近な生活の中の問題をクイズにしなが、楽しく省エネを学習しました。

**ごみ処理の工程を見学**

楽しいコンサートの後は、「ごみのゆくえ」のビデオを鑑賞し、グループに分かれて工場見学をしました。新しい工場棟の2階は、1周でごみ処理の工程を見学できます。

初めて見る人はまずごみピットに貯まったごみをつかみ上げるごみクレーンの迫力に驚きます。

クリーンセンター職員がタッチパネルなども使いながら、ごみ処理工程を説明しました。私たちが出すごみの処理工程を見学することで、ごみについて関心を持ち、ライフスタイルを見直したり、ごみ減量につながれば、と願っています。クリーンセンターでは、イベントの度に見学を行っていますが、平日の開館時はいつでも見学ができます。

**〈講演会〉家庭でできる節約術**

最後に、講師の北間澄代さんによる、環境に関する講演会が行われました。北間さんは、東京都地球温暖化防止活動推進センターのエコアドバイザーをはじめ、さまざまな環境啓発を進める活動をされています。

地球温暖化は大きな問題ですが、私たちの家庭でもできる省エネについて、電気・ガス・水道の検針票を見ることでわかる自分たちの暮らしや、家計のやさしい省エネ節約術などのお話を、スライドを見ながらうかがいました。一人ひとりが少しでも省エネに努めれば、大きな省エネにつながります。ごみの減量もその一つだと学びました。